

(受理番号) 元-14	(受理年月日) 令和元年11月27日
件名 要旨	陳 情
	<p> 厳しい財政の下、政務活動費の使途適正化に向けて領収書等のホームページ公開等を早急に実現することを求めることについて </p> <p> 香川県監査委員は2015年（平成27年）以来、5年連続で「議会に対し、政務活動費のより適切な支出に向けた要望」を伝え続けている。しかし、2019年9月12日付の監査結果では「これまでのところ改善が進んでいるとはいえず」「誠に遺憾である」と監査委員は指摘している。 </p> <p> 香川県議会は、全国市民オンブズマン連絡会議の2019政務活動費公開度ランキングで全国最下位グループの46位、日本経済新聞社の別の調査では全国最下位であった。地方でも国会でも議員たちの公金の使い方に国民の厳しい目が注がれている今こそ、政務活動費使途の透明化を進めるべきである。 </p> <p> 監査委員は9月の監査結果で「改めて次の通り強く要望する」として、県議会に以下の4点などを具体的に求めている。 </p> <ol style="list-style-type: none"> 1 政務活動費マニュアルの精緻化 2 会派からの収支報告書の提出の前向きな検討 3 的確な審査、県民の信頼が確保されるような適正な運用への改善 4 さらに透明性の確保と効率的・効果的な支出 <p> しかし、監査委員が「4さらに透明性の確保」で明示的に求めている「領収書等を議会のホームページで公表するなど情報公開の改善」は、2016年（平成28年）11月議会で陳情されて以来、10定例会連続で「継続審査」という名のたなざらし状態であった。 </p> <p> その間に、高松市議会を含む多くの議会で実現され、全国47都道府県議会の約半数で領収書のホームページ公開が実現または予定され、公開の動きは加速している。 </p> <p> 監査委員が「強く要望」し「早急に」行うよう要求する内容を何年も放置するなど論外であり、文字通り「早急に」実現すべきであり、最低限、「領収書のホームページ公開」と政務活動費による「視察・研修の報告書提出・公開」は、10定例会にわたる長期の審査を踏まえ、新しい議員も含めた今議会で議論を深め、今年度内に決定することを求める。 </p>